

貸借対照表

エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ株式会社

(2026年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
〈資 産 の 部〉		〈負 債 の 部〉	
流 動 資 産	17,899	流 動 負 債	16,504
現 金 及 び 預 金	108	買 掛 金	2,219
売 掛 金	6,405	未 払 金	6,521
商 品 及 び 製 品	817	未 払 印 税	5,192
仕 掛 品	1,764	未 払 消 費 税 等	410
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	225	未 前 受 金	689
前 払 費 用	130	預 り 金	48
未 収 入 金	3,343	賞 与 引 当 金	184
関 係 会 社 預 け 金	4,671	役 員 賞 与 引 当 金	2
そ の 他	447	返 金 負 債	933
貸 倒 引 当 金	△15	契 約 負 債	45
固 定 資 産	4,127	そ の 他	257
有 形 固 定 資 産	627	固 定 負 債	370
建 物	461	長 期 預 り 保 証 金	181
工 具 器 具 備 品	73	そ の 他	188
土 地	92		
そ の 他	0	負 債 合 計	16,875
無 形 固 定 資 産	496	〈純 資 産 の 部〉	
ソ フ ト ウ ェ ア	495	株 主 資 本	5,151
そ の 他	1	資 本 金	100
投 資 そ の 他 の 資 産	3,003	利 益 剰 余 金	5,051
繰 延 税 金 資 産	2,690	利 益 準 備 金	25
そ の 他	364	そ の 他 利 益 剰 余 金	5,026
貸 倒 引 当 金	△51	繰 越 利 益 剰 余 金	5,026
		純 資 産 合 計	5,151
資 産 合 計	22,026	負 債 ・ 純 資 産 合 計	22,026

(注) 当期純利益 1,025百万円

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式……………移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品、製品、貯蔵品……………移動平均法による原価法
(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価
切下げの方法により算定)

仕掛品……………個別法による原価法
(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価
切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。（ただし1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに
2016年4月1日以降取得した建物附属設備については定額法によっております。）

なお、耐用年数は以下のとおりであります。

建物……………3～43年

工具器具備品……………2～20年

(2) 無形固定資産

定額法

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（2年）に基づく定額法によっておりま
す。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債
権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、決算期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は営業外損益として処
理しております。

(2) その他

① 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

② 記載金額が「0」は百万円未満であることを示しております。

③ 記載金額が「-」は該当金額がないことを示しております。